

表 4-1 ● 日本の人口の推移

	人口 ¹⁾ (千人)	人口増減率 ²⁾ (%)	人口密度 ³⁾ (1 km ² 当り)	人口性比 (女 100 対男)
昭和 25 年 ('50)	83,200	1.75	226	96.3
30 ('55)	89,276	1.17	242	96.6
35 ('60)	93,419	0.84	253	96.5
40 ('65)	98,275	1.13	266	96.4
45 ('70)	103,720	1.15	280	96.4
50 ('75)	111,940	1.24	301	96.9
55 ('80)	117,060	0.78	314	96.9
60 ('85)	121,049	0.62	325	96.7
平成 2 ('90)	123,611	0.33	332	96.5
7 ('95)	125,570	0.24	337	96.2
12 ('00)	126,926	0.20	340	95.8
17 ('05)	127,768	△ 0.01	343	95.3
22 ('10)	128,057	0.02	343	94.8
27 ('15)	127,095	△ 0.11	341	94.8
令和 2 ('20)	126,146	△ 0.32	338	94.7
3 ('21)*	125,502	△ 0.51	...	94.6

- 1) 各年 10 月 1 日現在人口(昭和 45 年までは沖縄県を含まない)。
 2) 人口増減率は、前年 10 月から当年 9 月までの増減数を前年人口で除したものと。
 3) 人口密度は国勢調査(総務省統計局)による。
 (各年「国勢調査報告」、*は「人口推計(2021 年(令和 3 年)10 月 1 日現在)」, 総務省統計局より)

表 4-2 ● 日本の年齢 3 区分別人口と諸指標の推移

各年 10 月 1 日現在

	年齢 3 区分別人口 (千人) ¹⁾				年齢 3 区分別人口構成割合 (%) ¹⁾				指数 ²⁾			
	総数	年少人口 (0~14 歳)	生産年齢 人口 (15~64 歳)	老年人口 (65 歳以上)	総数	年少人口 (0~14 歳)	生産年齢 人口 (15~64 歳)	老年人口 (65 歳以上)	年少人口	老年人口	従属人口	老年化
昭和 25 年 ('50)	83,200	29,428	49,658	4,109	100.0	35.4	59.7	4.9	59.3	8.3	67.5	14.0
35 ('60)	93,419	28,067	60,002	5,350	100.0	30.0	64.2	5.7	46.8	8.9	55.7	19.1
45 ('70)	103,720	24,823	71,566	7,331	100.0	23.9	69.0	7.1	34.7	10.2	44.9	29.5
55 ('80)	117,060	27,507	78,835	10,647	100.0	23.5	67.4	9.1	34.9	13.5	48.4	38.7
平成 2 ('90)	123,611	22,486	85,904	14,895	100.0	18.2	69.7	12.1	26.2	17.3	43.5	66.2
12 ('00)	126,926	18,472	86,220	22,005	100.0	14.6	68.1	17.4	21.4	25.5	46.9	119.1
22 ('10)	128,057	16,803	81,032	29,246	100.0	13.2	63.8	23.0	20.7	36.1	56.8	174.0
27 ('15)	127,095	15,951	77,354	33,790	100.0	12.6	60.9	26.6	20.6	43.7	64.3	211.8
令和 2 ('20)	126,146	15,032	75,088	36,027	100.0	11.9	59.5	28.6	20.0	48.0	68.0	239.7
3 ('21)*	125,502	14,784	74,504	36,214	100.0	11.8	59.4	28.9	19.8	48.6	68.5	245.0

1) 平成 22 年までの国勢調査値には総数に年齢不詳を含む。年齢 3 区分別人口には年齢不詳を除いた人口を分母として算出している。平成 27 年、令和 2 年は年齢不詳補完による。

2) 年少人口指数 = $\frac{\text{年少人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$ 老年人口指数 = $\frac{\text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$

従属人口指数 = $\frac{\text{年少人口} + \text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$ 老年化指数 = $\frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$

(各年「国勢調査報告」、*は「人口推計(2022 年(令和 3 年)10 月 1 日現在)」, 総務省統計局より)

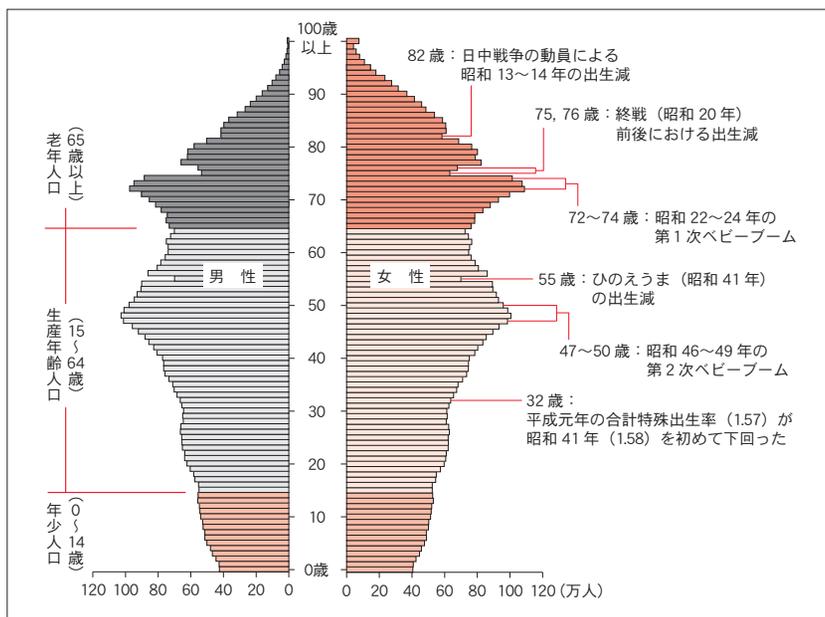


図 4-1 ● 日本の人口ピラミッド
(2021 年 10 月 1 日現在人口推計, 総務省統計局より)

根県、山形県、青森県など 33 道県で 30% 以上となり、高齢化が著しく進展している。

一方、年少人口構成割合では、出生率の高い沖縄県が 16.5% でもっとも高く、低出生率を反映して秋田県では 9.5% と 10% を下回り、青森県、北海道など 5 道県では 11.0% 未満となっている。

また、生産年齢人口構成割合では、66.1% の東京都を筆頭に、神奈川県、愛知県、埼玉県など大都市圏が 61.0% 以上で高く、52.4% ともっとも少ない秋田県と東京都の間には 13% 以上の格差がある(表 4-3)。

2020 年 10 月から 2021 年 9 月までの人口増減率では、増加は沖縄のみで、他の 46 都道府県では減少した。減少した都県のうち、埼玉、千葉、東京、神奈川、福岡はそれまでの増加から減少に転じている。増減率が最も低いのは秋田県で、1 年間の人口減少率は 1.52% である(表 4-4)。